

【特集】

事例Ⅳ 徹底解析

— NPV・企業価値を攻略する —

中小企業診断士第2次試験の事例Ⅳの中でも、多くの受験生が苦手としているNPV・企業価値。この2つを理解し攻略することが、事例Ⅳの高得点のカギとなる。本特集では、これらの徹底解析を行い、読者の理解を深める。毎年恒例の誌上添削付き！

はじめに

第①章 投資の経済性計算

第②章 企業価値の計算

第③章 事例Ⅳ(財務・会計)例題 — 先着30名様に無料添削のチャンス！

【文】MMC

【特集】事例Ⅳ 徹底解析 — NPV・企業価値を攻略する —

はじめに

MMC

中小企業診断士2次試験で合格するためには、4事例合計で240点以上を確保する必要があります。また、1科目でも40点未満にならないことが条件になります。

事例Ⅰ～Ⅲについては、記述問題がほとんどであるため、ある程度の学習を重ねることで40点未満になる可能性は低いものの、事例Ⅳ(財務事例)については、計算問題があり正誤が明確な設問が多いため、40点未満になる確率は他の科目に比べて高いと言えます。

また、事例問題の難易度も年々高くなり、計算問題の数も多くなっていることから、80分ですべての問題を正解するのは非常に困難です。ただ、財務事例で60点を確保することも難しいかというと、そうではありません。

経営比率分析、CVP分析、キャッシュフロー計算などの頻出問題にしっかりと対応することで、60点は確保できると思います。このほか、財務事例では、投資の経済性計算なども最近よく出題されています。

しかし、投資の経済性計算は難易度が高く、計算問題で正解にたどり着くことは難しいと言えます。このため、2次試験の合否に直接的な影響を及ぼす設問とは言えないものの、正解すると他の受験生に大きく得点差をつけることができます。

今回の特集では、難易度が高くなかなか理解することが難しいものの、正解することができれば大きく合格に近づくことができる「投資の経済性計算」と、その関連として「企業価値」の基本理論について、例題を用いながらわかりやすく解説していきます。

なお、解説に当たっては、中小企業診断士2次試験受験生の理解度を高めることを狙いとして、これまで1次試験や2次試験で出題されてきた問題の内容・範囲で解説していきます。

本解説で理解度が高まり、さらに学習を勧めたい受験生は、解説の最後に紹介した参考書を利用して学習を深めていただきたいと思います。

【参考】

投資の経済性計算、企業価値の2次試験における出題年度(年度は平成)。

●投資の経済性計算

15年、19年、20年、22年、23年、24年、26年、27年、28年

●企業価値

16年、20年*、24年

*20年は負債の節税効果の現在価値、つまり、負債の企業価値に及ぼす影響度が問われた。